

ようこそ ABA へ



The Academy of Bright Africans (ABA) はマリラム・サンベが 10 代の頃から思い描いていた夢による学校事業計画です。2006 年、マリラムはこの計画の実現に向けて真摯に考えるようになりました。その後彼女は包括的な教育環境づくりに注目し、アフリカの継続的な発展を促すことを目標に掲げ、まずは彼女の生まれ故郷であるエチオピアからスタートすることに焦点を定めました。マリラムは地域社会を巻き込んで、建設的な活動を通じて経済的な福利を住民に保証するような環境づくりを切に望みました。その実現のためには、地域社会に暮らす子供たち・教師・職員や保護者が互いに尊重し、そして互いのためになる様なバランスの取れた教育体制づくりに優るものはないのではないかとこの考えこそが ABA の前身となるものです。

ABAでの教育は、”人はみな地域社会や自然界、そして思いやりや平穏といった人道的な精神的価値観と接することによって自己の存在価値や、人生における意味や意義を見出す” (ミラー 1997) というホリスティック教育の基礎概念に基づき運営されます。つまり、ホリスティック教育に於いて、生徒たちは自然界や地域社会を尊重し、思いやりや平穏といった価値観を重んじる精神を持つことの大切さを学ぶこととなります。畏敬や思いやりについて学ぶことは、学問的な成果にも密接に結びついていくでしょう。ジャン・ジャック・ルソーは、個のあらゆる面における総合的な発達に目を向けた思想家であり、また教育学者の先駆者のひとりでした。彼は子供たちが、自身の置かれている環境の範囲内、つまり近隣社会や家庭において学びを得るべきであると考えました。子供たちは自らを取り巻く環境から様々な学びを得ます。ゆえに周囲の環境と一体化することこそが子供たちの発達の鍵となるのです (ミラー 2007)。

ホリスティック教育運動の指導者であるロン・ミラー (1992) は、ホリスティック教育とは特定の不変的な教育的手法ではないと言及しています。ホリスティック教育は文化や生徒のニーズに基づいて適用されるべき模範です。ABAは文化や、学校に通う子供たちの求めている物事を受けて行われるホリスティック教育事業の構築を推進します。